

実証成果 (株) RUSH FARMほか(福岡県小郡市、久留米市、大刀洗町)

実証課題名 水田地帯におけるAIとIoTを活用した葉菜類大規模経営の実証

経営概要 実証面積13ha(ミズナ、チンゲンサイ、ネギ、コマツナ、ほうれん草)
(株)RUSH FARM:2.5ha (有)大坪物産:3.5ha ベジハート(株):7ha導入技術 ①生産管理クラウドサービス「AICA」 ②細霧システム「クールミスティHA2型」
③機械化による露地ほうれん草の作業効率化

目標 作業効率化による従業員一人当たりの年間労働時間20%削減、IoTなどを活用し収量10%向上

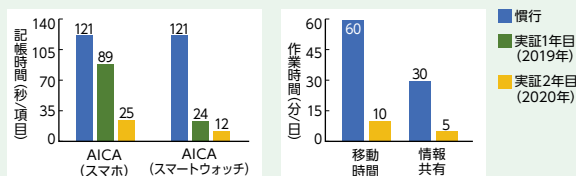
1 目標に対する達成状況

- 生産管理クラウドサービス「AICA」によるほ場での記録と情報共有により、総労働時間を20%削減
- 細霧システム「クールミスティHA2型」により、農薬散布作業時間を40%削減
- ほうれん草の掘取機により、収穫作業時間を50%削減。調製機・包装機により、経験による作業時間の差を解消
- 年間総収量は、過去3年平均と比較し増加

2 導入技術の効果

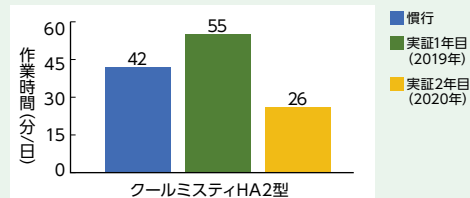
生産管理クラウドサービス「AICA」

- 1項目当たりの記帳時間を約100秒削減
- 記帳のための事務所への移動時間を50分/日・人削減
- 情報共有にかかる時間を25分/日・人削減



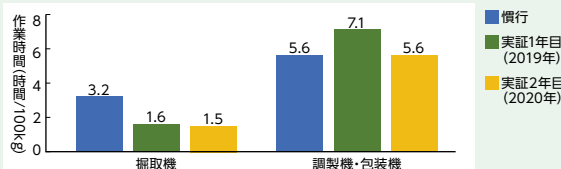
細霧システム「クールミスティHA2型」

- 農薬を準備し散布を終え片付けるまでの時間を16分/10a短縮
- 散布の完全自動化により、作業者の農薬曝露を低減



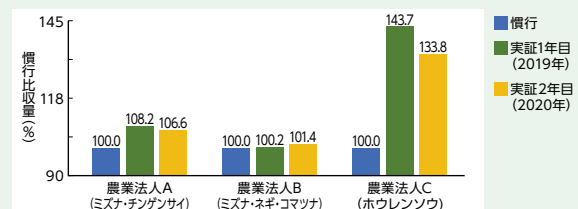
ほうれん草掘取機・調製機・包装機

- 収穫作業時間は、掘取機により1.7時間/100kg削減
- 調製・包装作業時間は、慣行体系と同等の5.6時間/100kg
- 機械の使用により、熟練者と未熟練者の作業量を平準化



収量

- 豪雨災害の影響により作付けできない期間があったが、慣行体系より1年間の総収量は増加



3 事業終了後の普及のための取組

- JAや市町村等を通じ、地域の農家への技術の共有と普及を行う。
- 関係機関と連携し視察受入や講師として実証内容の説明を行い、県内外への情報発信を行う。

問い合わせ先 (株)RUSH FARM (e-mail:rush.k.g@gmail.com)